

Suma Tomogaoka通信

兵庫県立須磨友が丘高等学校 総合学科推進部
令和7年度 第2号 7/18

教育実習生に聞く

5月29日から3週間の実習を終えました。学習活動だけでなく、文化祭への取り組みに参加するなど貴重な経験が出来たことと思います。実習生の皆さんに須磨友が丘での学びが、その後の学生生活にどのような影響があったかを振り返ってもらいました。

■ 須磨友が丘高校で経験したことが、大学に進学してからどのように生かされていますか？ また、今だからこそ分かる、高校時代に取り組んでおくべきこと等について、後輩へメッセージをお願いします。

- ・高校時代に取り組んだ課題研究は、大学でのレポート提出やゼミでの研究で生かされています。1つのテーマについて、先生のサポートをいただきながら、深く探究できたことは自信になっています。自分で問いを見つけ、課題解決に向かうという、研究をする上で大切な姿勢を友が丘高校で身につけることができた実感しています。課題研究の論文作成や発表は大変ですが、真摯に取り組むことで、大学で必要な能力を着実に高めることができると思います。
- ・「産業社会と人間」や「課題研究」は、大学での主体的な学びや探究活動に直結しています。実際に現場を見て学ぶ経験や、自ら課題を設定し検証するプロセスを通じて、物事を多角的に捉える力や論理的に思考する姿勢が身に付きました。与えられたものだけでなく、自分なりに疑問を持ち、行動に移す経験が卒業後も大きな強みになります。
- ・高校時代に選択科目で専門性の高い授業を受けることで、大学での学習に躓くことなくスムーズに取り組むことができました。自分が学びたい、興味のある分野を意識し学習することにより、大学の専攻や授業選択の際に迷うことなく自分の道が見つかりました。
- ・特に「産業社会と人間」を通して様々な職業に触れたり、自分の価値観を見直したりする機会があり、何に向いているのかを見つけることができました。総合学科の特徴を存分に利用し、いろいろな経験を通して自分の将来を考えてほしいです。また、総合学科発表会などを通して、様々な意見を聞いて、考え、多様な考え方ができるようにして下さい。
- ・部活動と大学受験の両立に力を入れたことが一番大きな経験でした。とても苦しい日々でしたが、今思うとかけがえのない経験でした。高校生の部活動は本当に貴重な時間です。この時間で得られるのは、自身を成長させる経験のみではありません。かけがえのない仲間に出会い、その関係は今でも続いています。皆さんも、ぜひ「今しかできないこと」に全力で取り組み、楽しんで下さい。
- ・高校時代に取り組んでおけば良かったこととして、もっと先生や学校を頼れば良かったと感じています。失敗が許されるときに挑み続ける姿勢は、今後、皆さんの人生の財産になると思います。
- ・私はクラスメイトだけでなく先生方ともよく話をしていました。年代が違えば考え方や価値観も異なり、会話を重ねることで自分の視野が広がったと感じます。高校を卒業すると、さらに多様な人たちと関わる機会が増えるので、人との関わりを大切にすることはとても必要なことだと思います。



回答・協力していただいた教育実習生のみなさん

1 年次「産業社会と人間」職業人講演会

5月16日（金）、本校の卒業生を含む11名の職業人の方を講師としてお招きして、「職業人講演会」を行いました。生徒たちは、事前学習としてキャリアプランニングの授業で自分に向いている職業や適性を知り、それぞれの興味がある職業の講師の方々からお話を伺いました。職業の内容に加えて、「働く意義」「魅力や苦勞」「コミュニケーションの重要性」「挑戦することの価値」など様々な観点から仕事に向き合える有意義な時間となりました。今回の講演会で、自分の未来を想像して、夢に向かって努力を重ねる第一歩を踏み出すことができたようです。



ベーカリー



音楽制作



宮大工

➤ 1 年次「産業社会と人間」職業人講演会 続き

〈生徒の感想〉

- ・働いている方の職業について聞くことが初めてで、とても貴重な時間でした。「こだわり」って大事なんだなと思いました。「こんな風になりたい」のように目標があると夢が見つかる。そして、自分自身のやり方が見えてくるなと思ったからです。
- ・2人の方のお話を伺い、それぞれ強い思い入れや願いがあることに気づいた。どの職業も未来のことを見据えて仕事をしていて、海苔を作る人は環境問題が影響しており僕たちも協力しないといけないと感じた。1人では成り立たないということが分かったので、周りのことを考え責任感を持って生活をしようと思った。

1 年次「産業社会と人間」学問分野別講演会

5月30日（金）、17の大学・専門学校から20学部（学問分野）の講師の方々を本校にお招きし、「学問分野別講演会」を行いました。生徒たちは、それぞれの興味・関心がある学問に関して、大学・専門学校でどのようなことを学び、将来どんな職業に繋がるのか、上級学校での学びや講師の先生がその学問を始めたきっかけなども伺いました。

期待や不安が混在する中、様々な学問についての話を伺い、これから長く続く深い学びの道の入口に、それぞれが希望を持って立つことのできた良い機会となりました。



各学問分野別の講演会の様子

〈生徒の感想〉

- ・私は2校の大学の先生の話聞いて、大学を選ぶ時は高校を選ぶ時と違って、自分の興味があることや好きなことが出来る学校を選んだり、将来の夢を実現するために学校を選んだり、高校以上に幅広い選択ができることを改めて知ることが出来ました。
- ・教員についての話を聞いて、一人でなんでも解決するのではなく、チームとして他の人と協調性を持つことで互いの足りないところを補って、更に素直に人の意見を受け入れることでより良い自分に成長できるのではないかと思います。

2 年次 課題研究 I

ゴールデンウィーク明けから、各系列・ゼミごとの活動が始まりました。12人のメンバーによる自己紹介、1年間の計画の説明、ゼミ担当の先生からのガイダンスが行われたあと、研究テーマを改めて練り直すステップとして、自分の興味や関心の幅を広げるための「キーワードリスト」の作成や、新聞記事を活用したグループワーク、リサーチクエスション設定に向けた個別面談などが行われました。学校の図書館や神戸市立図書館を利用して、積極的に情報収集に取り組む生徒の姿も見られました。例年、信頼性に乏しく一次情報の出典が不明確なインターネット情報を参考文献に挙げる論文が多く見受けられるため、課題研究の授業を通して情報の信頼性についての理解を深めてほしいと思います。6月には「研究計画書」の作成に取りかかり、7月の期末考査後には、各自が今後の研究計画についてゼミ内発表を行いました。この発表で得たフィードバックをもとに、研究計画をさらにブラッシュアップし、夏休み中に実施する調査内容を具体化できるようにしてください。

夏休み期間中は、課題研究を大きく進展させる期間です。先行研究や関連書籍のリサーチ、関係機関へのインタビュー、アンケート調査、実験・制作など、各自のテーマに応じて積極的に取り組んでください。また、副教材『中高生から論文入門』（講談社現代新書、小笠原喜康・片岡則夫著）も再度手に取り、ヒントを得るのもよいでしょう。きっと悩みを解決する助けになるはずです。休み明けの「研究経過報告会」では、ゼミの仲間が驚くような成果を持ち寄ってくれることを期待しています。



教員と面談



図書館で参考になる書籍探し



教員と面談

3年次 総合的な探究の時間 「課題研究」の集大成

6月に3年生全員が、2年次から取り組んできた課題研究をプレゼンスライドにまとめ、「ゼミ内発表」をしました。系列を混ぜた新たなメンバーのゼミでの研究発表は、新鮮でお互いに興味を刺激し合うことができたようでした。ただ聴くだけでなく、研究方法や疑問などについて質疑応答を通して投げかけ、研究の成果を確かめ合っていました。7月、相互評価によってゼミから代表者が選出され、下記の18名が「全体発表会」に駒を進めました。代表者は、「全体発表会」直前まで、研究の見直しやスライドの手直しを行い、見ごたえのある7分のプレゼンテーションに仕上げていました。

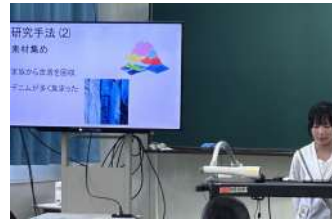
また、「課題研究」最後の時間に、「ふり返し」をしました。1年以上にわたり行ってきた「課題研究」は、①自らがテーマを決定し、②課題を見つけ、③自らの考えで解決を図り、④成果をまとめ、他者に伝える活動でした。この試行錯誤の連続から気づいたことや得たことは各々の中の種であり、芽であり、育ち続ける気持ちの原点となるのではないかと感じます。この力は、今後のさまざまな可能性を大きくすることに繋がっていくと思います。



ゼミ内発表の様子1



ゼミ内発表の様子2



ゼミ内発表の様子3



ゼミ内発表の様子4



ゼミ活動 評価シート記入



全体発表 学校長開会挨拶



全体発表の様子1



全体発表の様子2

【全体発表会出場者】

No.	名前	タイトル	系列	3年次	2年次
3222	玉川 心音	イヤホン難聴の最適な予防方法	医療・保健	森田	清水
3102	岩田 夏姫	私の一番美味しいナスの食べ方	人文・教育	森田	櫻木
3135	本田 明子	日本のプラスチックリサイクルを考える ～北欧諸国に焦点を当てて～	国際・社会	笠松	笠松
3120	富 来愛	人と野良猫の共生社会	国際・社会	増岡	笠松
3632	松本 妃奈	ソフトテニス人口の減少を防ぐために ～神戸市中学校部活動の「KOBE◆KATSU」への移行～	スポーツ・健康	安東	篠田
3228	廣嶋 美涼	発する言葉とその効果 ～成功と失敗に関わる言葉掛けについて～	生活・保育	林	林
3615	呉 祐樹	デジタルツインによる歴史的建造物の保存 ～北須磨小学校の円形校舎を未来へ～	情報・科学	小滝	末延
3434	松下 潮奏	ファストフードの向き合い方とは ～ファストフードが子供に与える影響～	生活・保育	湯谷	中村
3525	名田 泰介	自動販売機の周囲の地域環境と自動販売機の因果関係	人文・教育	櫻木	櫻木
3405	小田 涼佳	食物アレルギーで悩む姉がHappyになる料理をしてみた	生活・保育	末延	林
3431	古川 美咲	友が丘高校オリジナルランニングコースづくり～山登りも含めた地獄のランニングコースづくり～	スポーツ・健康	納富	篠田
3522	多見明日香	チームワーク向上のために ～部室の改善から～	人文・教育	高橋	櫻木
3508	岡崎 志穂	要支援・要介護度を下げる方法	医療・保健	小滝	廣田
3321	玉利 帆夏	野球の投球動作がバドミントン選手のスマッシュ速度および動作におよぼす影響	スポーツ・健康	寺井	山村
3308	梶村 葵衣	ビジネスマナーから見る現代社会	人文・教育	皆吉	森田
3336	森下 咲輝	400mHを速く走るためには～練習メニューを自分で考える～	スポーツ・健康	湯谷	篠田
3207	近藤 桜	美容院でのコミュニケーションへの苦手意識の研究 ～対人不安の観点から～	人文・教育	中村真	高橋
3217	竹本 栄太	スポーツ歴はウエイトリフティングに影響するのか	スポーツ・健康	増岡	山村

〈生徒の感想〉

- ・課題研究を通して、自分で考える力がついた。
- ・課題研究を通して、1つの視点ではなく複数の視点で考えることの重要性が分かった。
- ・日々の細かなことに目を向けることと、自ら動くことが成長した点で、さらに、外部発表を通して、苦手だった多くの人の前で発表することができるようになったことが成長と思う。
- ・章など細かなテーマごとにさまざまな実験やアプローチを行うなかで目標や着地点を見失わないように結果や考察を重ねることは簡単ではなかった。度々、自分の考えややるべきことや現在の状況などを書き出して発表した。発表をすることで、先生やゼミの生徒から評価やアドバイスがもらえるので、考えの整理ができたように感じる。このことから、長期間の活動の中で、全体を見る力を学ぶことができたと感じる。